群馬県立女子大学 FLRI Newsletter
Foreign Language Research Institute

外国語教育研究所だより

Vol.33 2018.10.26

グローバル人材育成事業「明石塾」

明石塾入塾式

8月4日、明石塾17期生の入塾式が本学で行われました。塾長である本学の小林良江学長は式辞で、日本人初の国連職員として活躍した初代塾長明石康氏の国際平和への貢献と卒塾生の活躍ぶりを紹介し、「明石塾での学びはもちろん、塾生同士の交流、絆を大切にし、明石塾の体験が生涯の宝物になり、その学びが将来に生かされること、そして自分の人生を自分の力で切り開く力となることを願っています」とエールを送りました。

式の最後には、塾生を代表して中央中等教育学校の小板橋知純さんが「明石塾でこれから養う国際的な視野や、発言力、行動力をはじめとした多くの学びを礎として、将来は国際社会を舞台に最前線で活躍したい」と決意を述べました。

入塾式後には小林塾長と塾生の懇談会が開かれました。塾生一人一人が自己紹介を兼ねて入塾した動機を語り、最後に塾長が「海外では、質問できない人は相手の話を理解する能力がないと見なされる。質問は相手への興味関心を意味するものであるので、そのスキルを身につけて欲しい」と助言しました。

代表あいさつをする小板橋知純さん（中央中等教育学校）

小林塾長と塾生の懇談会

今年度より外国語研究員による明石塾英語研修を常時公開します。

英語の授業を英語で行うことに日々奮闘している先生方に本研究所のグローバル英語教育研修を公開します。詳細につきましては大学ホームページでご確認下さい。

〈8/8 実施　マーク・ヨシダ研究員　授業展開例
テーマ「Appearance and Stereotype」〉

1 **マーク・ヨシダ研究員について外見から次のことを推測させる**
① Nationality　② Place of birth　③ Personality　④ Age
⑤ Favorite sports　⑥ Favorite food　⑦ Religion

2 **プレゼンテーション（Warm-up 活動）**
3つのグループに分かれ、発表者が各グループを巡回し、興味・関心のあることを写真などを見せながら発表する3分スピーチ

3 **6枚の人物写真を推測させる**
・1グループ3人で国籍や職業を推測させる。
・その推測した根拠を互いに説明させる。
・各グループの推測結果をそれぞれ板書する。
・各写真の人物の国籍や職業を言い、外見による推測が事実と外れていることを認識させる。

4 **マーク・ヨシダ研究員についても1の活動で推測したことと事実を比較する**

5 **外見による推測の危険性についてのまとめ**
外見による推測　→　ステレオタイプ　→　偏見　→　差別

6 **推測する時に使用する表現を紹介**
（例）
絶対的な確信：absolutely, certainly…
高い確信：probably, most likely…
推測：may, might, seem to be, appear to be,…
不確定な推測：I'm not sure, but…,

7 **断定的な表現を適切な推測表現に変える練習**
（例）All smokers have bad manners.
→ Some smokers may have bad manners.

自分の外見から推測させるマーク・ヨシダ研究員（左）

塾生の英語プレゼンテーション

写真の外見から国籍・職業を推測する塾生たち

研修報告（８月～９月）

明石塾では次のとおり研修を行いました。英語研修は研究所の外国語研究員が行い、講義は本学の先生方にご協力頂きました。

日　付	午前　10:00 ～ 12:30	午後　13:30 ～ 16:00
8月 6日(月)	英語研修1・2 Class building / Get to know you activities	講義①「光源氏物語の始発」 室田　知香准教授（文学部国文学科）
8月 7日(火)	英語研修3・4 Non-verbal Communication	講義②「貿易から考える国際関係」 鈴木　悠講師（国際コミュニケーション学部）
8月 8日(水)	英語研修5・6 What is Culture?	講義③「English Sounds, Stress and Intonation 」 N.スネイプ教授（国際コミュニケーション学部）
8月 9日(木)	英語研修7・8 Appearance and Stereotypes	講義④「森の滞在者　ヘンリー・ソロー」 林　南乃加講師（文学部英米文化学科）
8月10日(金)	英語研修9・10 What is “Japaneseness”?	講義⑤「群馬県紹介」 松浦　利隆教授（群馬学センター）
8月11日(土)	英語研修11・12 Immigration	講義⑥「西洋絵画の名脇役―細部にひそむメッセージに気づく」 藤沢　桜子教授（文学部美学美術史学科）
8月23日(木)	県内フィールドワーク（サンデンホールディングス）	
9月 1日(土)	英語研修13・14（公開授業） Population Growth	夏休み研修まとめ、テーマ討論①
9月29日(土)	東京フィールドワーク（グローバルフェスタ、東京ジャーミイ）	

塾生の講義感想

1 日目　「光源氏物語の始発」　M.O. さん

今回の講義のように構想の順序、当時の様子などを踏まえて読むと苦手な古文の内容も理解できて面白かったです。源氏物語が長編化した理由は、物語の面白さだけでなく、「ポテンシャルがあったから」との先生の言葉を自分なりに考えてみました。上流階級である主人公の光源氏は中流や下流階級の女性とも恋をします。人間は自分と近い立場の人に親近感を抱くため、この物語は幅広い階級の女性が登場することによって様々な読者に親近感を与えるというポテンシャルがあったと思います。

2 日目　「貿易から考える国際関係」　C.K. さん

ゲームを通して貿易を学び、楽しく分かりやすかったです。ゲームでは初め所持したお金や資源は少なく、不利な条件でしたが、周りの状況をよく確認した上で早くから他のグループと協力し、みんなの意見をまとめ、情報を整理しながら判断したことで最終的に２位になりました。分析力、統率力、外交力、考える力の大切さを痛感しました。情報過多な現代の社会でウソに惑わされずに適切に行動し、情報を取捨選択するメディアリタラシーの必要性も身をもって知ることができました。

3 日目　「English Sounds, Stress and Intonation」　I.H. さん

同じアルファベットでも読み方が変わること、発音の種類、発音記号などを学びました。また、ジャズチャンツでイントネーションやアクセントの練習をしました。話し手が何を強く伝えたいかを表すのにイントネーションがいかに重要であるかを認識しました。ジャズチャンツに合わせて wanna, gonna, gotta など省略した英語を使ってリズムよくイントネーションを意識すると上手に喋れた気分になりました。

4 日目　「森の滞在者　ヘンリー・ソロー」　H.I. さん

アメリカの文豪ヘンリー・ソローの「人間は額に汗を流してパンを稼ぐ必要はない」という言葉が印象に残りました。文明発達前までは生きるのに必要な知恵は代々受け継がれ、自然の中で臨機応変に生きるのが本来の人間でした。しかし、文明発達後は命の危険は減った分、人生の多くの時間が労働に費やされるようになりました。文明発達前の人生の豊かさについて考えたソローの偉大さに感銘を受けました。

講義「English Sounds, Stress and Intonation 」
N. スネイプ教授

講義「西洋絵画の名脇役―細部にひそむメッセージに気づく」
藤沢桜子教授

5日目　「群馬県紹介」　Y.H.さん

群馬が上野で栃木が下野になったのは群馬の方が京都に近かったからという理由を初めて知りました。5世紀頃、古墳が作られたことを素晴らしいと言う日本人をヨーロッパ人が馬鹿にするという話に失笑しましたが、しかし、遅れをとった日本が生糸の生産や車などの開発において急速に発展したことは素晴らしいと思います。そしてファッション、交通、生活のあらゆる面で群馬の力があったことを知り、さらに群馬の魅力を学びました。

6 日目　「西洋絵画の名脇役―細部にひそむメッセージに気づく」　A.T. さん

メインに描かれている物だけでなく背景や周りにある物や動物、使われる色にも意味があることを学びました。「犬は忠実性を表す」「犬と神聖な物とは対立関係にある」など真逆の意味もあり、場面によって異なることも分かりました。また、蛇は「賢い、邪悪なもの」を表す一方、杖に巻き付いている 2 匹の蛇は「伝令、商業の神」も表していることが興味深かったです。私の高校の校章も同じデザインですが、その理由に納得できました。

留学支援事業

本学の海外留学支援プログラムでは留学情報の提供及び奨励金支給手続などについて説明会を随時実施し、留学を希望する学生を手厚く支援しています。短期研修（2 週間以上 6 か月未満）には上限 20 万円、長期研修（6 か月以上 1 年未満）には上限 40 万円の奨励金を原則として支給しています。平成 30 年度長期留学に 43 名の学生が参加し、過去最多の参加人数となりました。

平成30年度群馬県親善学生大使委嘱状交付式

群馬県親善学生大使委嘱状交付式では小林学長は、「自分の言葉で発信しようとする気持ちを持って多くのことを学び、小さな失敗を心の栄養として様々な人と交流して欲しい」と激励しました。学生代表の国際コミュニケーション学部 2 年中山彩花さんは、「富岡製糸場や地元桐生の織物を紹介し、世界と群馬をつなぐ架け橋になりたい」と述べました。

委嘱状交付式で代表挨拶をする中山彩花さん

留学帰国報告

H29.9 ～ H30.8　長期留学　ハイラインカレッジ（アメリカ）
国際コミュニケーション学部 3 年　N.A.

シアトルに留学した 1 年間は、私が人間的に成長するのに貴重な体験の連続だった。留学をして最初に直面したのがホームシックとの戦いだったが、その特効薬となったのはホストファミリーとのコミュニケーションだった。コミュニケーションの力がここまで大きく影響する体験をしたことはなかった。時間がかかっても私の話を聞いてくれる彼らの態度に、ここでなら頑張っていけるという安心感が生まれた。コミュニケーションの大切さや、異文化理解は生きていく上で大事だとわかっていても、自分自身で体験しなければ、なぜそれらが重要なのか、どのように自分の人生に活かせるかなど理解できないものである。恵まれた環境で学べたことや貴重な人との繋がりに感謝し、今後もこの留学で学んだことを活かしていきたい。

卒業式

H30.8　短期研修　ウィニペグ大学附属英語学校（カナダ）
文学部英米文化学科 2 年　Y.I.

研修先の授業ではプレゼンテーションがほぼ毎週あり、授業内で発言するだけでなく、資料を用いて人前で話す機会が多数あった。またディスカッションでは、LGBT やマリファナの合法化などについて話し合い、自分の意見だけでなく、クラスメイトの意見に対する賛成、反対の理由も発言しなくてはならなかった。このおかげで研修後には英語を格段と流暢に話せるようになっていた。また、毎週行われる課外活動ではマニトバ州の文化や歴史をはじめ、移民の国、カナダの様々な異文化や芸術に触れることもできた。ホストマザーとの会話で日本とカナダの文化や政治について話し合ったことはより深い異文化理解に繋がった。また、群馬県親善学生大使として群馬のプレゼンテーションを行ったことも役に立ったと実感している。

キャンパス前にて

高等学校連携英語授業

研究所では外国語研究員による英語モデル授業を年３回にわたって実施しています。説得力のある英語によるプレゼンテーションを行う力を身につけることを目指し、アクティヴ･ラーニングの手法を取り入れた授業を行っています。高崎経済大学附属高校、伊勢崎高校、沼田女子高校と連携し、英語モデル授業を実施しています。

また、学校個別のプランに従って英語授業支援も行っています。高崎女子高校の「グローバル・リーダー養成ワークショップ」や高崎高校の「ディベート練習」において研究員が指導や助言を行いました。

高大連携英語教育事業についてのお問い合わせは研究所までご連絡ください。

高崎高校

高崎女子高校

伊勢崎高校

高崎経済大学附属高校

沼田女子高校

県民英会話サロン「グローバルかフェ」

今年度第１期（5 月～ 7 月）のグローバルかフェを高崎市総合福祉センターで計 9 回実施し、毎回約 50 人の県民の方が参加しました。第 2 期グローバルかフェを以下のとおり開催します。事前の予約は必要ありません。ご希望の方は開催日に直接会場までお越しください。 小中学校や高校の英語指導助手の方もぜひご参加下さい。

参加者の声

高崎高校　2年　高田裕基さん

グローバルカフェでは様々な年代や国籍の方と話ができ、学校では得られない知識や体験談を聞くことができました。英語のみの会話を通して英語力の向上は勿論のこと、質問力や会話力などのコミュニケーションスキルが向上しました。私にとっては、週に一度あるこのグローバルかフェが英語学習を継続する大きなモチベーションになっていました。何より、楽しくたくさん学べたことが本当に良かったです。

日　時：10 月 4 日（木）～ 12 月 13 日（木）の毎週木曜日（但し、11 月 1 日は除く）
18 時 15 分～ 19 時 45 分 (全 10 回)
場　所：群馬県立女子大学　新館 6 階 ラウンジ
参加費：各回　100 円

お知らせ

次の行事に参加を希望される方はメールにて群馬県立女子大学外国語教育研究所 (**flri-one@gpwu.ac.jp**　〈平成 30 年 4 月 1 日より法人化のためアドレスが変更となりました〉) へお申し込みください。なお、詳細については本学ホームページをご覧ください。

〇明石塾公開

以下の日程で明石塾を公開します。
日時：平成 30 年 11 月 17 日（土）午前の部 10 時～ 12 時半、午後の部 13 時半～ 15 時半
場所：群馬県立女子大学　新館 6 階研修室
内容：午前▶英語研修
午後▶講義　講師：高見澤　恵理 氏（朝日新聞社勤務　明石塾第 2 期生）
演題：「グローバルとローカルをつなぐ生き方」

発　行 ： 群馬県立女子大学外国語教育研究所
〒370－1193　群馬県佐波郡玉村町上之手1395－1
TEL：0270－65－8511(代)　FAX：0270－65－9538　URL：http://www.gpwu.ac.jp/